

鎌倉市議会議員



地域政党 鎌倉

世を超えて支えあえるまちへ

細川まなか

令和7年9月定例会号①

議会レポート 03

令和7年10月発行

育児と
介護の
二刀流



我慢の限界！オーバーツーリズム
鎌倉高校前駅 実証実験の効果は？

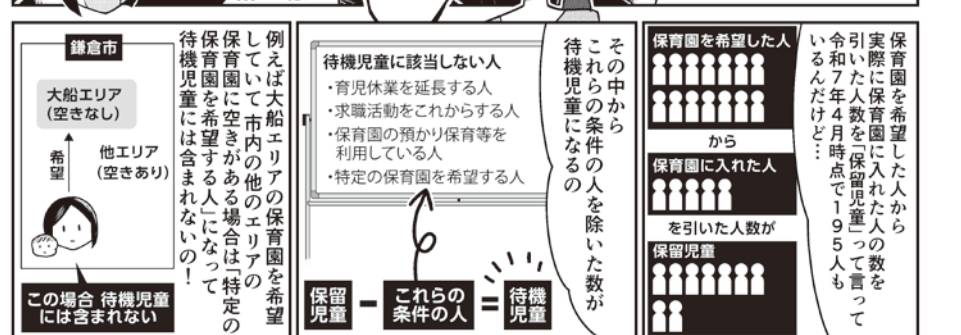
観光客による車道や歩道での写真撮影、ゴミのポイ捨て、民家への侵入、路上での排せつ、違法タクシー等による駐停車が周辺住民に大きな影響を及ぼしていた鎌倉高校前駅周辺。9月13(土)～16日(火)の三連休を含む4日間9～16時でオーバーツーリズム対策の実証実験が行われた。

- ①最寄りの腰越ラッコ公園に撮影エリアを設置
- ②ラッコ公園内へのゴミステーションの設置
- ③各日12名程度の職員の配置

撮影エリア利用者は4日間で計9,490人、ゴミは燃えるゴミ5袋、ペットボトル6袋(いずれも45L)トイレは江ノ電鎌倉高校前駅のトイレの修理が完了し、警備員監視のもと利用が再開。観光客はスムーズに撮影エリア内に誘導されていたが、違法タクシー等は踏切付近を避け、より住宅街の中で待機するようになったとの声も。また、実証実験後は職員の配置がないため、警備員2名体制に戻り、撮影エリアに観光客を誘導しきれていない。15日に行われた市民環境常任委員会には「鎌倉高校前踏切付近における観光客増加に伴う治安悪化に対する早急な対策についての陳情」が提出され、提出者からは子供への影響の大きさや、周辺住民が観光客の出たゴミを処分する等、負担の大きさが語られた。観光課は実証実験の結果を受け人員の配置含め、今後の対策を検討するとのことだが、警備員を増やす場合人件費は市の負担となる。国は2030年までにインバウンド6000万人を目標としているが、受け入れる観光地としては自治体の財政だけで態勢を整備することは困難であり、国へ補助を求めていく必要があると考える。



待機児童9人？保育園に入れない人はもっている！保留児童って？



ご意見・ご相談は LINE 又はメールにてお知らせください!

YouTube 毎週土曜 22 時から LIVE 配信中!

